「日々の理科」(第285号) 2015 (H27),-4,12

「残雪の浅間山」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

4月の浅間高原の景観はあまり魅力がない。すでに雪はほとんどとけているが、新緑にはまだ遠いからだ。しかし、野鳥の声は盛んで、昆虫たちも活動を始めている。今の時期、北麓から見る浅間山は、残雪が実に美しい。 今朝は非常に天気が良く、雄大な浅間の全貌を観ることができた。



山肌をよく観察すると、山頂付近が特に真っ白になっている。金曜日から土曜日にかけて関東甲信に降った雨が、浅間山山頂付近では雪になったのだ。およそ 2000m の等高線を境に、新しく雪が積もっているようである。望遠レンズで見ると、残雪の山肌の上に、もう一度雪が積もっているとわかる。今の時期にしか見られない、珍しい浅間の姿だ。

「浅間山の山肌遠望」

残雪の山肌の上に、もう一度雪が積もったと わかる。あまり見られない珍しい光景。



「残雪の浅間山」 群馬県道54号線・二度上峠より(高崎市倉渕と長野原町北軽井沢の境界の峠)